

経営学部経営学科・教育研究上の目的及び3つのポリシー

教育研究上の目的

経営学部経営学科は、経営学の基礎的・専門的知識を教授し、情報教育、語学教育、インターンシップなどの実践教育を通じて、経営学、会計学、知識情報マネジメントおよびマーケティングに関する専門的な知識と能力を身につけ、広い視野から現代社会を分析するとともに、自主的に判断できる力をもった人材を育成することを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

経営学部経営学科は、卒業に必要な単位を取得し、以下に示すような能力を備えていると認められる学生に、卒業の認定を行い、学士（経営学）の学位を授与する。

1. 豊かな教養と専門的知識およびそれを活用する技能

- (1) 経営・会計・知識情報・マーケティングに関する専門知識を修得している。
- (2) 社会状況や社会変化に対して学際的な理解を有している。

2. 他者との共同による問題発見・解決能力と、それを支える思考・判断・表現力

- (1) 現代の人間や社会に対する理解を深め、専門領域以外の問題にも積極的に挑戦できる能力を有している。
- (2) 社会や企業に必要な情報を収集し、自らの考えを分かりやすく伝え、意見を交わすことができる。

3. 自律的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感

- (1) グローバルな課題を発見・分析・解決する能力と意欲を有している。

4. 本学の建学の精神や本学の理念に対する理解

- (1) 社会や企業のニーズを把握し、多文化共生を目的として、多様な考え方を持つ人々と協働しながら主体性を持って取り組むことができる。

教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

経営学部経営学科は、卒業認定・学位授与方針に掲げる能力を修得させるために、以下のような内容、方法、評価の方針に基づき、教育課程を編成する。

1. 教育内容

- (1) 初年次より、基礎教育の科目を必修として配置する。選択科目として学部・学科を越えた全学共通科目や外国語科目等を設ける。
- (2) 2年次からは、経営学・会計学・知識情報マネジメント・マーケティングの4コースを設け、ビジネスに関するきめ細やかな理論的・実証的指導を行う。
- (3) 3年次からは、さらにそれらの知見に基づき実践的な課題にも対応できるように専門演習科目を配置する。
- (4) グローバルで革新的な学問分野を取り入れ、企業活動・ビジネス環境に対応した科目を配置する。
- (5) 実務家や企業家を招き、社会の課題を実践的に解決する講座を開講する。

2. 教育方法

- (1) 少人数のゼミを有効活用し、双方向の教育を実施する。
- (2) 実務経験者との交流を通じた実践的な課題解決の教育を行う。

3. 評価方法

- (1) 経営学部における卒業要件達成状況、単位取得状況を観察し、学位授与方針で掲げられた能力を評価する。
- (2) 学生の成長度合いを把握し、自主的な活動が行われているかを評価する。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

経営学部経営学科は、教育研究上の目的、ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施方針）に基づき、次のような要件を備えた受験生を各種選抜試験によって受け入れる。

1. 知識・技能

- (1) 経営学に関わる分野を学ぶための基礎学力を持っている。
- (2) 学際的に理解しグローバルな課題を学ぶための基礎学力を持っている。

2. 思考力・判断力・表現力

- (1) 自分の考えを的確に表現し、わかりやすく伝えることができる。
- (2) 物事を多面的かつ論理的に考察することができる。
- (3) 実務家を目指し、専門的知識を学習する意欲を持っている。

3. 主体的に学習に取り組む態度

- (1) 自分で目標を設定し、それを達成するために、着実に前進する積極的な気持ちを持っている。

経営学部経営学科アドミッション・ポリシーと各入学選抜試験との関連表

入試方式	選抜方法	アドミッション・ポリシー		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
		AP1	AP2	AP3
一般選抜 桐門の翼奨学金試験 ※選抜方法は入試方式で異なる	学力試験			
	英語民間試験スコア	●		
一般選抜 (英語民間試験活用総合評価型)	英語民間試験スコア	●		
	事前課題論文		●	●
総合型選抜	調査書 等	●		
学校推薦型選抜	小論文		●	●
特別選抜	自己推薦書	●	●	●
※選抜方法は入試方式で異なる	個人面接		●	●